

# 『遊 戯 三 味』



## 山陽鋼機建設株式会社

代表取締役

ひらた まさのり  
**平田 雅典**

山口商工会議所 2号議員

1973年山口市生まれ。高校卒業までを山口市内で過ごし、東京の建設関係の専門学校に進学した。卒業後は東京の建設会社に就職し、1年半ほど働いた後に帰山。趣味はバスケットボールで、最近も時間を作って週1回程度仲間とプレイを楽しんでいる。

### 〔企業概要〕

山陽鋼機建設(株)

住 所：山口市小郡上郷 3552

T E L：083-972-2362

従業員数：34名

### 平田社長のプロフィールを教えてください。

生まれも育ちも小郡で、東京で過ごした約4年間以外は、ずっと小郡にいる生粋の山口市民です。会社はもちろん、自宅も小郡にあります。

高校卒業後は、東京にある建設業関係の専門学校に進学しました。高校を卒業する間際までは、自分が会社を継ぐという意識は特にしていなかったのですが、いざ進学などを考えたときに「やはり自分が会社を継がねば」という思いが強くなり、建設業を学ぶことにしました。

専門学校卒業後は、東京で建設関係の会社に就職し主に現場監督などを行っていました。22歳の時に小郡に戻り山陽鋼機建設(株)に入社してからも現場監督として働きました。27歳の時に1級建築士資格を取得し、また、弊社は不動産業の登録もしてい

ますので35歳で宅地建物取引士の資格を取得しました。平成27年7月に代表取締役に就任しましたが、今でも、あまり大きくない現場であれば監督に出ることもありますよ。

趣味のバスケットボールは中学・高校の6年間と、社会人になって20代後半までは一生懸命やっていたが、一時中断の後、40代になって再開しました。試合には参加していませんが、最近も時間を作って週1回程度仲間と楽しんでいます。最近

は、弊社で研修しているフィリピンからの3人の技能実習生と一緒にバスケットボールをするのが楽しみです。私も最近知ったのですが、フィリピンはバスケットボールがとても盛んだそうです。

### 山陽鋼機建設(株)について教えてください。

1971年に建築物の骨組みを作る鉄骨を製作する鉄工所として創業し、今年8月で46周年を迎えます。鉄骨の製作からスタートしているので「鋼機」という言葉が社名に入っています。今は総合建設業として、店舗や事業所・事務所などの一般建築を取り扱っていますが、鉄骨を使った建築が得意です。最近は工場が24時間稼働している状態で、社員のみんながとても頑張ってくれています。交替勤務ですので、工場内で



趣味のバスケットボール。  
チームのみなさん、フィリピンからの研修生3名と。



工場と、工場内のライン。24時間フル稼働の状態が続いています。

働いている社員の平均年齢は30歳そこそこ、若い従業員が増えています。

2009年に山陽メディカルケア(株)という会社を立ち上げ、「ゆめの里」という有料老人ホームの運営を始めました。当初から私が代表取締役を務めています。最初の頃は多くの職員が辞めるなど、軌道に乗るまで本当に苦しかったです。最初の施設である「ゆめの里くろかわ」を設置してから6年が経ち、今では萩、阿知須の3施設を運営しています。

### スローガンの「遊戯三昧」とはどういう意味があるのでしょうか？

スローガンというよりは、私が大切にしている言葉です。この言葉だけをみると「すごく遊ぶ、遊んでばかり」という意味と思われがちですが、実際は仏教用語で、悟りを開いた修行者にとっては「なにものにもとらわれることなく、仏の境地に遊ぶこと」という意味なのですが、もう1つ、「嫌なことでも、やることそのものを楽しむこと」という意味があります。

仕事でもなんでも、苦しいこと・辛いことは沢山あるわけですが、どんなことでも「行うことそのものを楽しみたい」という、私自身の目標のようなものです。

会社のスローガンとしては『地域のために未来を「想像・創造」する企業』にというものを私が社長に就任するときに決めました。地域のために、夢をもって思い描き、形にする企業でありたいと考えて、このスローガンを提示しました。

### 昨年11月から「山口都市構想委員会」の副委員長にもご就任いただいていますね。

新山口駅周辺は、ここ数年で大きく変化しています。周辺の開発に関して、計画段階から色々な面で携わらせていただいておりますが、石田副会長からのお声掛けいただき、山口都市構想委員会の副委員長に就任させていただきました。小郡や山口という地域のくくりを取り払って、どちらも発展していけるように、微力ではありますが、お役に立てるように頑張りたいと考えています。



新山口駅北口に整備する商業施設、マンション、ホテルなどの再開発模型。完成が楽しみです。

また、市民ワークショップから生まれた「新山口駅 駅前広場活動運営実行委員会」の副会長も務めさせていただいており、この実行委員会ではイベント等を企画する部会の部長も兼任しています。新山口駅は山口県の玄関口でありながら、これまでは萩や下関などへ行くための通過点になっていたと思います。これから完成する駅前広場を活用して、通過点ではなく、いかに人が集まる・楽しめる場所にするかという仕掛けを考えることが、当面の目標です。

### これからの目標について教えてください。

私が社長に就任するときに「山口で一番、人脈の広い、信頼してもらえる人間になる！」と社員の前で宣言しました。有言実行と思い、先述の委員会や山口商工会議所青年部など、お声掛けいただいたものには積極的に参加して、多くの方と知り合い、お話をお聞きしようと決めています。営業マンより営業ができる社長として、目標に向けて、まだまだ頑張っていきたいと考えています。

また、夏のワイルドバンチフェスや、2年前の世界スカウトジャンボリーなどを見ていると「集まる仕掛けがあれば、人は集まって来るのだ」と感じます。4年後には新山口駅横にコンベンション施設も完成します。それに合わせて、民間主導でマンション、ホテル、商業施設を整備する計画も、地権者等との合意形成に至り、昨年12月19日に山口市に要望書を提出することができました。

小郡周辺は、山口県内でも数少ない人口が増加している地域です。暮らす人が増え、施設や駅も整備されて、今後更に訪れる人も増えることが予想されます。より多くの人を楽しめる魅力的な地域にできるよう、知恵を絞りながら「地域づくり、まちづくり」に協力して行きたいと考えています。これからも、楽しいことも、苦しいことも辛いことも「遊戯三昧」で取り組みたいと思います。